

平成 30年 10月 12日

## 「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく 金融商品に係る業務運営の取組状況の公表について

株式会社福岡中央銀行（以下「当行」）は、「これまでも、そしてこれからも、地域になく  
てはならない福岡中央銀行となるために」の基本方針のもと、金融商品に係る業務運営におい  
ては、お客さまの安定的な資産形成に向けたサービスの提供に取り組んでおります。

当行では、平成 29年 7月 31日に公表しました「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」  
（以下「本方針」）に基づき業務を行っており、取組状況をご確認いただくため各種指標を以下  
の通り公表いたします。

また、本方針に基づく取組み状況を定期的に公表するほか、より良い業務運営を実現するた  
めに見直しを行います。

### 記

#### 1. 公表日

平成 30年 10月 12日（金）

#### 2. 取組方針および成果指標（KPI）

- （1）お客さま本位の取組みの実践
- （2）お客さまにふさわしいサービスの提供
- （3）従業員に対する適切な動機づけの枠組み等
- （4）当行における比較可能な共通 KPI

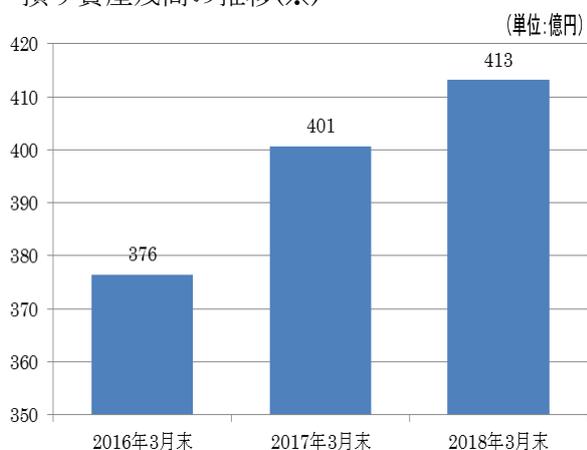
以 上

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく金融商品に係る業務運営の取組状況

1. お客さま本位の取組みの実践

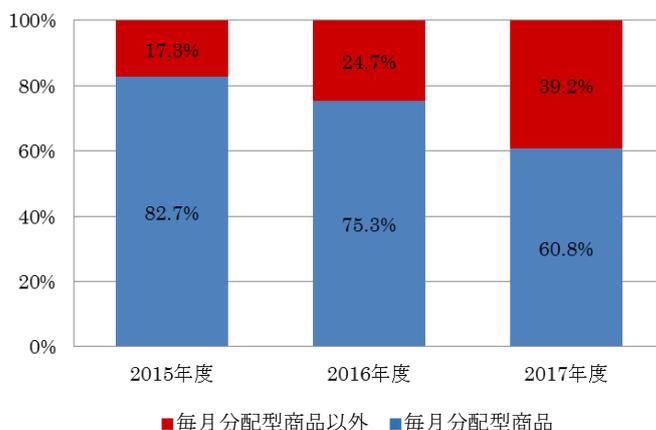
- お客さまのニーズに適した資産運用の情報提供に努めております。預り資産残高は、マーケットの影響等ありましたが緩やかに増加しております。
- 長期的な資産ニーズに適した複利効果が期待できる「毎月分配型商品以外」の販売額比率が増加しております。引き続きお客さまのニーズに沿った提案に努めてまいります。
- 少額からの新たに資産形成を希望するお客さまのご要望にお応えし、積立投資信託の提供にも努めております。契約者数は順調に増加しており、前年対比で56.2%増加しております。

■ 預り資産残高の推移(※)



(※) 投資信託+生命保険

■ 投信販売における毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の販売額比率



■ 積立投信契約者数・月間積立金額の推移



## 2. お客様にふさわしいサービスの提供

- お客様の様々なニーズにお応えするために商品ラインナップの充実に努めております。
- 平成30年3月末時点では、投資信託43本、生命保険78本を取扱っております。
- ※生命保険は、FPアソシエイツ&ファイナンシャルサービス(株)との共同募集商品56本も含まれます。
- お客様向けセミナー等を定期的で開催し、金融商品情報やマーケット情報など、お客様の資産形成に役立つ情報の提供に努めております。

### ■ 投資信託ラインナップ

種類		2016年3月末		2017年3月末		2018年3月末	
		商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
債 券	国内債券	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	海外債券	11	36.7%	12	36.4%	14	32.6%
株 式	国内株式	3	10.0%	3	9.1%	4	9.3%
	海外株式	5	16.7%	5	15.2%	9	20.9%
R E I T	国内REIT	2	6.7%	2	6.1%	2	4.7%
	海外REIT	2	6.7%	2	6.1%	2	4.7%
バ ラ ン ス 型		7	23.3%	9	27.3%	12	27.9%
合 計		30	100.0%	33	100.0%	43	100.0%

### ■ 投資信託ラインナップにおける毎月分配型商品以外の比率

種類	2016年3月末		2017年3月末		2018年3月末	
	商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
毎月分配型商品以外	16	53.3%	17	51.5%	25	58.1%
毎月分配型商品	14	46.7%	16	48.5%	18	41.9%
合 計	30	100.0%	33	100.0%	43	100.0%

### ■ 投資信託 販売件数上位商品 (2017年度)

順位	商品名	投信会社名	投資対象
1	野村インド債券ファンド (毎月分配型)	野村アセットマネジメント	海外債券
2	ワールド・リート・オープン (毎月決算型)	三菱UFJ国際投信	海外REIT
3	野村インド債券ファンド (年2回決算型)	野村アセットマネジメント	海外債券
4	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	岡三アセットマネジメント	海外株式
5	ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)	大和証券投資信託委託	国内REIT

■ 積立投資信託 販売件数上位商品 (2017 年度)

順位	商品名	投信会社名	投資対象
1	株式インデックス 225	野村アセットマネジメント	国内株式
2	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (1 年決算型)	岡三アセットマネジメント	海外株式
3	ダイワ J-REIT オープン (年 1 回決算型)	大和証券投資信託委託	国内 REIT
4	トレンド・アロケーション・オープン	三菱 UFJ 国際投信	バランス
5	野村インド債券ファンド (年 2 回決算型)	野村アセットマネジメント	海外債券

■ 生命保険ラインナップ

種類		2016 年 3 月末		2017 年 3 月末		2018 年 3 月末	
		商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
変額個人年金 (一時払)	円建	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
	外貨建	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
定額個人年金 (一時払)	円建	2	2.6%	2	2.5%	1	1.3%
	外貨建	1	1.3%	1	1.3%	1	1.3%
終身保険 (一時払)	円建	7	9.2%	6	7.5%	6	7.7%
	外貨建	5	6.6%	6	7.5%	8	10.3%
定額個人年金保険 (平準払)	円建	5	6.6%	5	6.3%	3	3.8%
	外貨建	1	1.3%	1	1.3%	1	1.3%
終身保険(平準払)	円建	15	19.7%	16	20.0%	15	19.2%
養老保険(平準払)		3	3.9%	3	3.8%	3	3.8%
定期保険(平準払)		11	14.5%	15	18.8%	16	20.5%
収入保障保険(平準払)		6	7.9%	6	7.5%	5	6.4%
医療・がん保険(平準払)		18	23.7%	19	23.8%	19	24.4%
学資保険(平準払)		1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計		76	100.0%	80	100.0%	78	100.0%

■ 生命保険 販売件数上位商品 (2017 年度)

順位	商品名	保険会社名	種類
1	ステイゴールド	三井生命	年金(平準払)
2	新医療保険 A プラス	三井住友海上あいおい生命	医療(平準払)
3	エブリバディプラス	明治安田生命	外貨建・終身(一時払)
4	しあわせ、ずっと	三井住友海上プライマリー生命	外貨建・終身(一時払)
5	ちゃんと応える医療保険 Ever	アフラック	医療(平準払)

■ お客さま向けセミナー・運用報告会 実施回数

項目	2015 年度	2016 年度	2017 年度
セミナー・運用報告会	6 回	3 回	6 回

### 3. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

- 専門的知識を身に付け、お客さまにとって最良の金融サービスの提供を実現するために FP 等の資格取得を奨励しております。
- FP 等資格取得を昇進条件とし、人事制度にも反映しております。

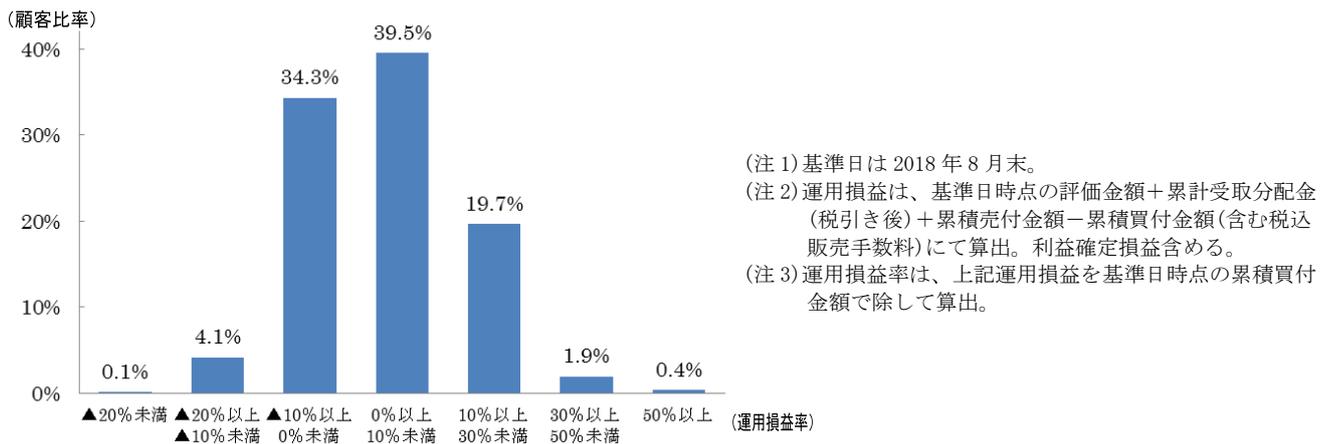
#### ■ FP1 級・FP2 級の資格保有者数

項目	2018 年 3 月末
資格保有者数	176 名

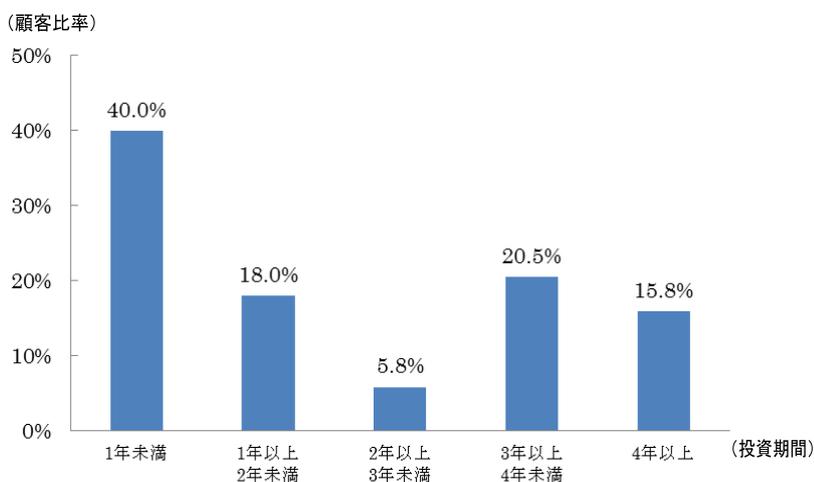
### 4. 当行における比較可能な共通 K P I

- 2018 年 8 月末現在で、当行で投資信託を保有しているお客さまの 38.5%が運用損益率マイナスとなっております。また、そのうち約 40%のお客さまが投信保有期間 1 年未満であり、お客さまの投資信託の平均保有期間が長くなるにつれ、運用損益率がプラスとなる割合が高くなっております。

#### ■ 運用損益別顧客比率

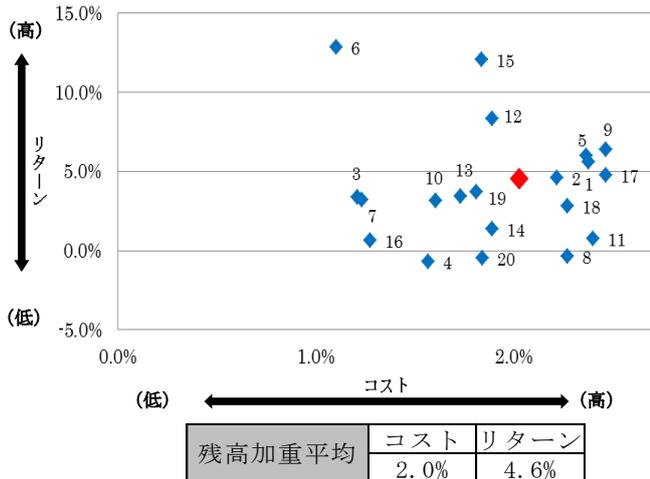


#### ■ 運用損益率 0%未満の顧客投信保有期間



(注1) 基準日は 2018 年 8 月末。

■ 投資信託預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

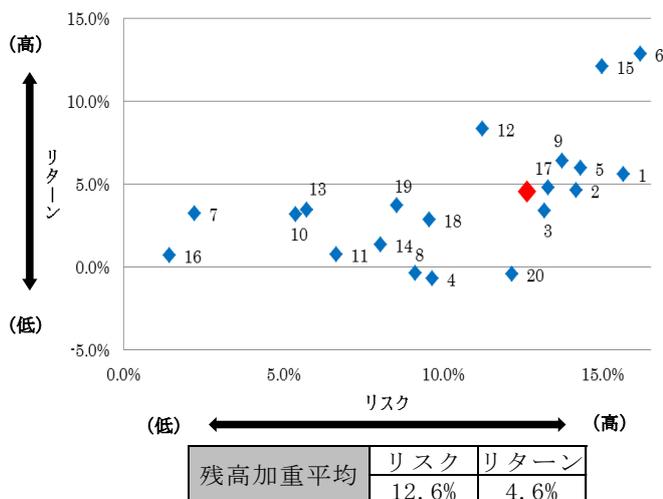


(注1) 基準日は2018年3月末  
 (注2) コストは、販売手数料率(税込)と信託報酬率(税込)の合計値。リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)。  
 (注3) 共通KPIの基準(設定後5年以上)を満たした上位20銘柄を抽出。

<預り資産残高上位 20 銘柄一覧>

順位	ファンド名
1	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)
2	ワールド・リート・オープン (毎月決算型)
3	ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)
4	オーストラリア債券ファンド (毎月分配型)
5	野村インド債券ファンド (毎月分配型)
6	株式インデックス225
7	東京海上・円資産バランスファンド (毎月決算型)
8	アジア・オセアニア債券オープン (毎月決算型)
9	アジア好利回りリート・ファンド
10	トレンド・アロケーション・オープン
11	野村新興国債券投信Aコース(為替ヘッジあり) (毎月分配型)
12	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ成長重視型
13	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ安定重視型
14	ダイワ外債ソブリン・オープン (毎月分配型)
15	好配当日本株式オープン
16	DIAM毎月分配債券ファンド
17	ワールド・インフラ好配当株式ファンド (毎月決算型)
18	アジア・パシフィック・ソブリン・オープン (毎月決算型)
19	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズインカム重視型
20	野村高金利国際機関債投信 (毎月分配型)

■ 投資信託預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン



(注1) 基準日は2018年3月末  
 (注2) リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算。一部日次リターンを使用)。リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)。  
 (注3) 共通KPIの基準(設定後5年以上)を満たした上位20銘柄を抽出。

<預り資産残高上位 20 銘柄一覧>

順位	ファンド名
1	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)
2	ワールド・リート・オープン (毎月決算型)
3	ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)
4	オーストラリア債券ファンド (毎月分配型)
5	野村インド債券ファンド (毎月分配型)
6	株式インデックス225
7	東京海上・円資産バランスファンド (毎月決算型)
8	アジア・オセアニア債券オープン (毎月決算型)
9	アジア好利回りリート・ファンド
10	トレンド・アロケーション・オープン
11	野村新興国債券投信Aコース(為替ヘッジあり) (毎月分配型)
12	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ成長重視型
13	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ安定重視型
14	ダイワ外債ソブリン・オープン (毎月分配型)
15	好配当日本株式オープン
16	DIAM毎月分配債券ファンド
17	ワールド・インフラ好配当株式ファンド (毎月決算型)
18	アジア・パシフィック・ソブリン・オープン (毎月決算型)
19	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズインカム重視型
20	野村高金利国際機関債投信 (毎月分配型)

以上